



## GPIFの国内株式運用機関が選ぶ「優れた統合報告書」と「改善度の高い統合報告書」

年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）は、国内株式の運用を委託している17機関（パッシブ7機関、アクティブ10機関、以下、運用機関）に対して、「優れた統合報告書」と「改善度の高い統合報告書」の選定を依頼しました。今回はそれぞれ最大10社選定を依頼し、4ページのリストの通り、「優れた統合報告書」については延べ67社（前回70社）、「改善度の高い統合報告書」については延べ87社（前回68社）が選ばれました。

そのうち、多くの運用機関から「優れた統合報告書」、「改善度の高い統合報告書」として高い評価を得た企業は以下の通りでした。

### 【4機関以上の運用機関から高い評価を得た「優れた統合報告書」】

◇ 伊藤忠商事（株）	8機関	◇ （株）三菱ケミカルホールディングス	4機関
◇ （株）丸井グループ	7機関	◇ コニカミノルタ（株）	4機関
◇ 大和ハウス工業（株）	6機関	◇ （株）リクルートホールディングス	4機関
◇ 味の素（株）	6機関	◇ 日本精工（株）	4機関
◇ オムロン（株）	5機関	◇ （株）三菱UFJフィナンシャル・グループ	4機関
		◇ （株）カプコン	4機関

### 【4機関以上の運用機関から高い評価を得た「改善度の高い統合報告書」】

◇ J. フロント リテイリング（株）	4機関
◇ ミネベアミツミ（株）	4機関
◇ （株）島津製作所	4機関
◇ （株）三菱UFJフィナンシャル・グループ	4機関

\*統合報告の定義は運用機関によるため、統合報告書と銘打たなくても、統合思考に基づいて情報開示が行われていると各運用機関が判断すれば選定される場合もあります。

機関数が同じ場合は証券コード順。

4 機関以上の運用機関から高い評価を得た「優れた統合報告書」について、運用機関の主なコメントは以下の通りです。

#### **伊藤忠商事（株）**

- ・ トップメッセージでは、経営理念や戦略の説明に留まらず、経営陣の経験や考え方にも触れている。
- ・ 創業の原点と社長の思い、ビジネスモデルとバリューチェーンがうまく溶け込んでいる。
- ・ 順調に拡大してきた企業価値を、次世代に向けていかに持続的に継続させるかといったコンセプトが良く伝わる内容。

#### **（株）丸井グループ**

- ・ 独創性が高く、社長メッセージを含め目指す方向がはっきりしている。
- ・ コアバリューである「信用の共創」をベースに独自の視点でサステナビリティについて考え、店舗・カード・Web の三位一体のビジネスモデルを表現している。
- ・ 特に、インクルージョンというメインテーマがいかに日々の運営や将来の事業戦略の中核に組み込まれているか具体例をもって説明している。

#### **大和ハウス工業（株）**

- ・ 理念と社長メッセージと目指すべき方向性が一致していて分かりやすい。
- ・ 空想的な価値創造ストーリーを描く企業が増える中、財務との関連をしっかりと説明、中身のある MD&A (Management Discussion & Analysis: 経営者による財務・経営成績の分析) の記載は他社の手本となる。

#### **味の素（株）**

- ・ 「ASV (Ajinomoto Group Shared Value) を通じた価値創造ストーリー」の標榜→詳細な KPI の設定→具体的なアクションに繋がることで価値創造の実現が期待できる。
- ・ 有機的に社会とビジネスを統合しようとしており、企業価値と社会課題への取組が融合されている。

#### **オムロン（株）**

- ・ 将来目指す社会、そこからバックキャストしたビジネスモデル、中期経営計画、サステナビリティ目標、ROIC 経営、人材戦略、報酬制度の全ての説明が高次元で繋がっている。
- ・ 中期経営計画における進捗と課題、事業を通じた ESG 各項目に対する取組とその財務目標達成への貢献が解りやすい。全てのステークホルダーに配慮した内容。

#### **（株）三菱ケミカルホールディングス**

- ・ 「30 年後の世界を見据える長期志向経営」を打ち出し、地球規模で well-being の実現を目指すという熱い情熱が投資家に十分伝わる内容。

#### **コニカミノルタ（株）**

- ・ 2050 年にカーボンマイナスを目指し、そのマイルストーンも開示している。
- ・ 役員報酬設計の開示、非財務データの開示が連結対象範囲となっており、財務データと整合的。

#### **（株）リクルートホールディングス**

- ・ 選び抜かれた言葉を通して、企業文化、価値観、変化への対応力といった強み・独自性が伝わる。今年度は価値創造モデルについての記載が充実。

#### **日本精工（株）**

- ・ マテリアリティに加え、過去の中期経営計画の振り返りや現計画の進捗が分かりやすく記載。
- ・ 将来の機会をどう価値創造に結び付けようとしているのかが明確。

#### **（株）三菱UFJフィナンシャル・グループ**

- ・ 組織改編を伴う新中期経営計画と共に ESG の取組刷新を強調。
- ・ CEO、CFO も ESG の取組と株主還元、株主との対話に言及するなど新たな方向性が示されている。

#### **（株）カプコン**

- ・ 最も重要性が高い人的資本戦略に関するコンテンツが更に拡大。
- ・ 事業戦略の強みの分析が分かりやすく解説されている。

4機関以上の運用機関から高い評価を得た「改善度の高い統合報告書」について、運用機関の主なコメントは以下の通りです。

**J. フロント リテイリング (株)**

- ・サステナビリティ方針策定に伴い内容刷新。SDGsにリンクしたマテリアリティ特定と取組策を開示。
- ・百貨店ビジネスモデルの変革と具体的な経営戦略、人財への取組など企業の目指す方向性が伝わる内容となっており、読み応えがある。

**ミネベアミツミ (株)**

- ・今年度からアニュアルレポートから統合報告に移行し、説明内容が改善。コンパクトな分量で図表等を多く用いており分かりやすい。
- ・価値創造をもたらす3つの強み、強みを生み出す資本について体系的に理解できるほか、環境貢献製品売上等、定量的な開示も評価できる。

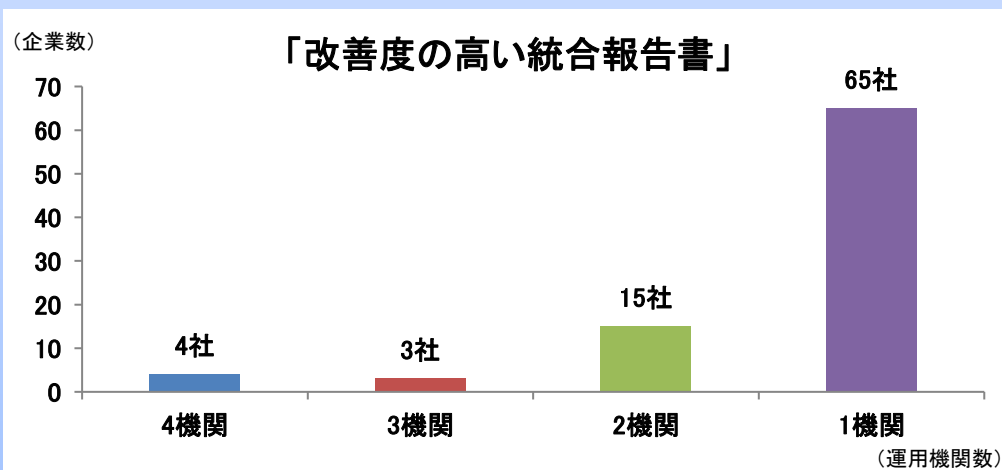
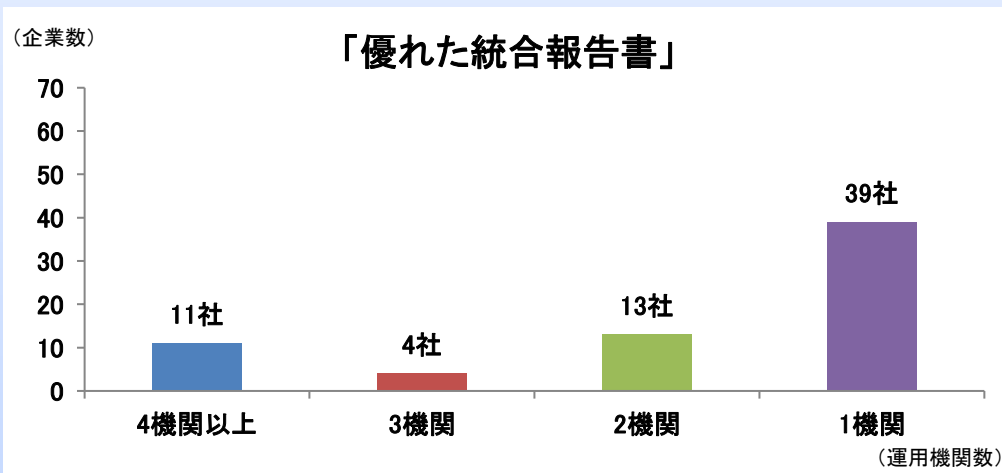
**(株) 島津製作所**

- ・CSR (基盤的CSR) と GSV (戦略的CSR) を区別しており理解の深さを窺わせる。
- ・ESG と SDGs についての充実した記述と KPI の明示がなされ、事業ごとの社会課題の落とし込みができています。取締役会の実効性評価は前年対比で進展が分かりやすい。

**(株) 三菱UFJフィナンシャル・グループ**

- ・経営トップのメッセージでは、日本語版と英語版で若干記載を変え、メッセージの伝え方にも考慮するなど同社における統合報告書の戦略的な意義が高まっていると認識している。
- ・メッセージにおける環境認識、経営課題について、何を・どのように、取組むべきかについての具体性がさらに増した。報酬設計、各委員会メンバーの開示は投資家にとって有用。

＜得票運用機関数別企業数の分布＞



## 【GPIFの運用機関が選ぶ「優れた統合報告書」】

コード	社名
1333	マルハニテロ(株)
1878	大東建託(株)
1925	大和ハウス工業(株)
1928	積水ハウス(株)
1963	日揮(株)
2502	アサヒグループホールディングス(株)
2503	キリンホールディングス(株)
2590	ダイドーグループホールディングス(株)
2593	(株)伊藤園
2768	双日(株)
2802	味の素(株)
3086	J. フロント リテイリング(株)
3105	日清紡ホールディングス(株)
3289	東急不動産ホールディングス(株)
4183	三井化学(株)
4188	(株)三菱ケミカルホールディングス
4204	積水化学工業(株)
4217	日立化成(株)
4307	(株)野村総合研究所
4452	花王(株)
4519	中外製薬(株)
4523	エーザイ(株)
4540	(株)ツムラ

コード	社名
4901	富士フイルムホールディングス(株)
4902	コニカミノルタ(株)
4911	(株)資生堂
4917	(株)マンダム
5406	(株)神戸製鋼所
5713	住友金属鉱山(株)
6098	(株)リクルートホールディングス
6268	ナブテスコ(株)
6361	(株)荏原製作所
6367	ダイキン工業(株)
6471	日本精工(株)
6479	ミネベアミツミ(株)
6501	(株)日立製作所
6645	オムロン(株)
6841	横河電機(株)
6856	(株)堀場製作所
6869	シスメックス(株)
6902	(株)デンソー
7011	三菱重工業(株)
7013	(株)IHI
7203	トヨタ自動車(株)
7701	(株)島津製作所
7741	HOYA(株)

コード	社名
7752	(株)リコー
7947	(株)エフピコ
8001	伊藤忠商事(株)
8002	丸紅(株)
8031	三井物産(株)
8053	住友商事(株)
8058	三菱商事(株)
8252	(株)丸井グループ
8267	イオン(株)
8303	(株)新生銀行
8306	(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ
8411	(株)みずほフィナンシャルグループ
8591	オリックス(株)
8601	(株)大和証券グループ本社
8604	野村ホールディングス(株)
8725	MS&ADインシュアランスグループホールディングス(株)
8766	東京海上ホールディングス(株)
9101	日本郵船(株)
9202	ANAホールディングス(株)
9697	(株)カプコン
9783	(株)ベネッセホールディングス

\*上記は運用機関から「優れた統合報告書」として選ばれた企業の一覧(証券コード順)

## 【GPIFの運用機関が選ぶ「改善度の高い統合報告書」】

コード	社名
1801	大成建設(株)
1812	鹿島建設(株)
1925	大和ハウス工業(株)
1963	日揮(株)
2269	明治ホールディングス(株)
2282	日本ハム(株)
2502	アサヒグループホールディングス(株)
2503	キリンホールディングス(株)
2590	ダイドーグループホールディングス(株)
2593	(株)伊藤園
2607	不二製油グループ本社(株)
3086	J. フロント リテイリング(株)
3105	日清紡ホールディングス(株)
3231	野村不動産ホールディングス(株)
3401	帝人(株)
3402	東レ(株)
3626	TIS(株)
4061	デンカ(株)
4063	信越化学工業(株)
4183	三井化学(株)
4208	宇部興産(株)
4324	(株)電通
4452	花王(株)
4507	塩野義製薬(株)
4568	第一三共(株)
4661	(株)オリエンタルランド
4689	ヤフー(株)
4755	楽天(株)
4901	富士フイルムホールディングス(株)

コード	社名
4912	ライオン(株)
4922	(株)コーセー
4967	小林製薬(株)
5002	昭和シェル石油(株)
5214	日本電気硝子(株)
5332	TOTO(株)
5406	(株)神戸製鋼所
5411	ジェイ エフ イー ホールディングス(株)
5713	住友金属鉱山(株)
5803	(株)フジクラ
6178	日本郵政(株)
6268	ナブテスコ(株)
6287	サトーホールディングス(株)
6326	(株)クボタ
6361	(株)荏原製作所
6367	ダイキン工業(株)
6395	(株)タダノ
6471	日本精工(株)
6479	ミネベアミツミ(株)
6501	(株)日立製作所
6645	オムロン(株)
6701	日本電気(株)
6728	(株)アルバック
6752	パナソニック(株)
6841	横河電機(株)
6856	(株)堀場製作所
6869	シスメックス(株)
6902	(株)デンソー
7011	三菱重工業(株)

コード	社名
7012	川崎重工業(株)
7282	豊田合成(株)
7532	(株)ドンキホーテホールディングス
7701	(株)島津製作所
7912	大日本印刷(株)
7951	ヤマハ(株)
7956	ビジョン(株)
8001	伊藤忠商事(株)
8002	丸紅(株)
8031	三井物産(株)
8053	住友商事(株)
8252	(株)丸井グループ
8306	(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ
8309	三井住友トラスト・ホールディングス(株)
8316	(株)三井住友フィナンシャルグループ
8341	(株)七十七銀行
8591	オリックス(株)
8601	(株)大和証券グループ本社
8725	MS&ADインシュアランスグループホールディングス(株)
8795	(株)T&Dホールディングス
9101	日本郵船(株)
9201	日本航空(株)
9432	日本電信電話(株)
9437	(株)NTTドコモ
9513	電源開発(株)
9697	(株)カプコン
9735	セコム(株)
9983	(株)ファーストリテイリング
9987	(株)スズケン

\*上記は運用機関から「改善度の高い統合報告書」として選ばれた企業の一覧(証券コード順)

以上